

第 7 6 回「電波の日」総務大臣表彰

1 個人：3 件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
きくま のぶよし 菊間 信良 名古屋工業大学 名誉教授 東京都立大学 システムデザイン学部 情報 科学科 特任教授	長年にわたり電波監視技術の高度化及び調査研究に尽力し、我が国の電波監視システム (DEURAS) の構築に寄与するとともに、情報通信審議会の作業班の主任として電波監視の今後の在り方に関する報告書を取りまとめるなど、我が国の電波監視分野の発展に多大な貢献をした。
さとう こうへい 佐藤 孝平 国立研究開発法人情報通信研究機構 シニ アイノベーションコーディネータ	長年にわたり国際電気通信連合及びアジア・太平洋電気通信共同体において議長等を歴任され、主に次世代移動通信システムの国際標準化を主導し、卓越したリーダーシップにより多国間の利害関係を公平な立場から調整するなど、アジア・太平洋地域全体の利益に多大な貢献をした。
やまお やすし 山尾 泰 電気通信大学 名誉教授 電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター客員教授	情報通信審議会の専門委員を務め、同審議会の複数の作業班において主任及び主任代理として携帯電話等の技術的条件等に係る議論をけん引するとともに、電波利用料による研究開発等の評価を通じて電波有効利用技術の実用化及び社会実装に寄与し、電波技術や電波利用等の発展に多大な貢献をした。

2 団体：3 件

(敬称略)

団体名	功績の概要
一般財団法人 道路交通情報通信システムセンター (理事長 <small>やまもと けいじ</small> 山本 圭司)	30 年以上の長きにわたり、渋滞・規制・駐車場情報などの道路交通情報をリアルタイムで収集・処理・編集し、FM多重放送、電波ビーコン、光ビーコンの三つのメディアによりカーナビゲーションシステムに配信する業務を通じ、交通の円滑化、国民の利便性向上に多大な貢献をした。
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 (会長 <small>とくら まさかず</small> 十倉 雅和)	2025 年日本国際博覧会において、次世代の情報通信技術を活用した未来社会の実験場を提供し、情報通信の将来像を体験させ、我が国の情報通信利用の推進に寄与するとともに、多数の無線局の運用調整を行うなど、会場における良好な電波利用環境の確保に多大な貢献をした。
輪島市 (市長 <small>さかぐち しげる</small> 坂口 茂) 一般社団法人 町野復興プロジェクト実行委員会 (代表理事 <small>やました ゆうすけ</small> 山下 祐介)	令和 6 年能登半島地震及び奥能登豪雨で甚大な被害を受けた輪島市町野地区において、臨時災害放送局を開設運用し地域の安心安全に寄与するとともに、被災地を元気づけ放送により深まった絆を通して、被災地の復旧・復興と地域の再生に多大な貢献をした。